

警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口で修理をご依頼ください。

テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口をお持ちになる際は、必ずヘッドホンとトランスミッターを一緒にお持ちください。

警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示の注意事項を守らないと、大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



禁止

警告 下記の注意を守らないと、**火災・感電により大けがの原因となります。**

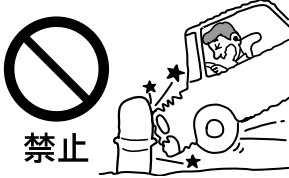


火災

感電

運転中は使用しない

自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



禁止

注意 下記の注意を守らないと、**けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

- 警告**
- 火の中に入れていない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
 - 乾電池は充電しない。
 - 指定された種類の電池を使用する。
- 注意**
- ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
 - 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

保証書とアフターサービス**保証書**

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではコードレスステレオヘッドホンの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンター、またはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 午前9時から午後6時まで
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- ・型名：
- ・ご相談内容：できるだけ詳しく
- ・お買い上げ年月日

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	
お問い合わせはお客様ご相談センターへ	受付時間： 月～金 9:00～ 20:00、 土・日・祝日 9:00～ 17:00
●ナビダイヤル……………0570-00-3311 (全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)	
●携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311	
●Fax ……………0466-31-2595	

<http://www.sony.co.jp/>

SONY

コードレスステレオヘッドホン**取扱説明書**

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MDR-IF5000

Sony Corporation © 1998 Printed in Korea

主な特長

本機は赤外線を使用したコードレスステレオヘッドホンです。DVDプレーヤーと、別売りのプロセッサーを、光デジタル接続ケーブルで接続するだけで、マルチチャンネルのサラウンド音場をヘッドホンで快適にお楽しみいただけます。

- ・外来ノイズなどの影響を受けにくい赤外線を利用した、コードレスステレオヘッドホン
- ・ヘッドバンド調節不要のフリーアジャスト機構
- ・ヘッドホンをかけるだけで自動的に電源が入り、はずすと自動的に電源が切れる、オートパワーオン/オフ機能
- ・ヘッドホンの左右の音量を連動して調節できるVOLつまみ
- ・ヘッドホンの左右のバランスを調節できるBALANCEつまみ
- ・電源は、ソニー製単3形乾電池、あるいは単3形アルカリ乾電池です。その他の電池で使うにはソニー製単3形充電式ニカド電池(NC-AA,NC-AAS)、単3形充電式ニッケル水素電池(NH-AA)でご利用になれます。

別売りのプロセッサーあるいはトランスミッターが必要です

本機は単体ではご利用になれません。別売りのソニーデジタルサラウンドヘッドホンシステムMDR-DS5100またはソニー製赤外線トランスミッターなどと組み合わせてお使いください。

主な仕様

一般仕様	
変調方式	周波数変調
搬送波周波数	右チャンネル 2.8MHz 左チャンネル 2.3MHz
周波数特性	12 ~ 24,000Hz
電源	DC 3V (単3形乾電池×2) またはDC2.4V (単3形充電式ニカド電池NC-AA×2 または単3形充電式ニカド電池NC-AAS×2 または単3形充電式ニッケル水素電池NH-AA×2)
質量	約280g (乾電池含む)

付属品

単3形乾電池(2) 取扱説明書(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)

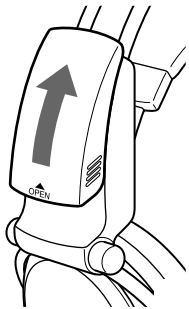
別売りアクセサリ

ニッケル水素・ニカド兼用充電器
BCG-34HNB
充電式ニッケル水素電池
NH-AA-2B

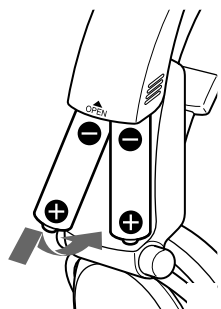
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ヘッドホンに電池を入れる

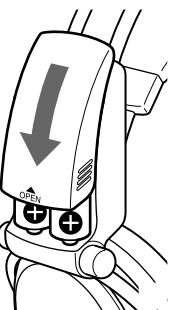
1 左ハウジングの上にある電池ぶたを開ける。



2 付属の単3形乾電池を入れる。



3 電池ぶたを閉じる。



電池についてのご注意

ソニーデジタルサラウンドヘッドホンシステムMDR-DS5000/DS5100をお持ちのかたは付属しているソニー製単3形ニカド電池(NC-AA)または単3形ニカド電池(NC-AAS)または単3形ニッケル水素電池(NH-AA)でもご使用になれます。

電池の持続時間

電池の種類	持続時間
ソニーアルカリ乾電池 LR6/AM3(N)	約90時間
ソニー乾電池 R6P/SUM-3(NS)	約45時間
ソニー単3形ニカド電池 NC-AA(700mAh)	約30時間*
ソニー単3形ニカド電池 NC-AAS(1000mAh)	約40時間*
ソニー単3形ニッケル水素電池 NH-AA(1450mAh)	約60時間*

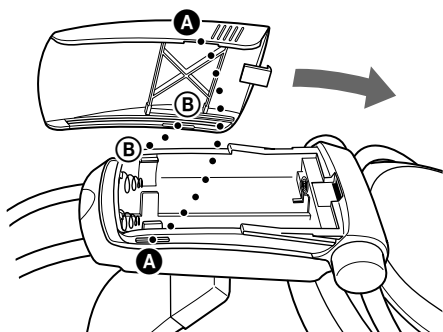
*フル充電した場合の使用時間

電池の交換時期

電池が消耗してくると、ヘッドホンの右側にある電源ランプが暗くなってきます。また、音がひずんだり、雑音が多くなります。その場合、電池を新しいものと交換してください。

電池ブタが外れた場合の取り付け方法

図のようにAとA、BとBを合わせて取り付けてください。



音声を聞く

MDR-DS5000/DS5100をお使いになるときは、MDR-DS5000/DS5100の取扱説明書をご覧ください。

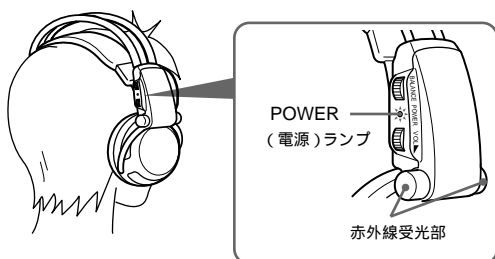
その他のトランスミッターをお使いの場合、接続や操作については、トランスミッターに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 トランスミッターに接続したAV機器の電源を入れる。

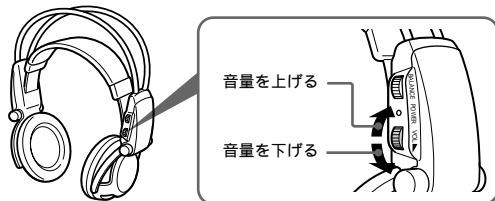
2 トランスミッターの電源を入れる。

3 ヘッドホンをつける。

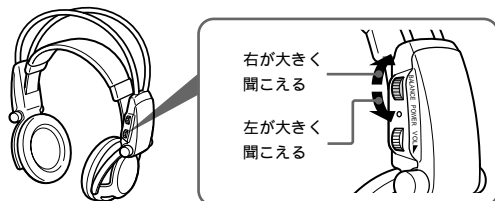
電源ランプが赤色に点灯し、自動的に電源が入ります。



4 音量を調節する。



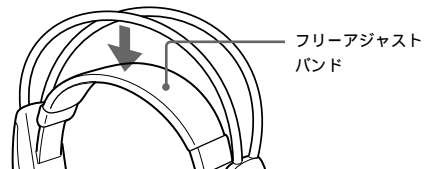
5 左右のバランスを調節する。



ヘッドホンはずすと自動的に電源が切れます

— オートパワーオン/オフ機能

お使いにならないときは、フリーアジャストバンドが引き上げられた状態にならないようご注意ください。電源が入ったままになります。



ヘッドホンから音が聞こえないときは

— ミュート機能

赤外線が届く範囲から離れたたり、赤外線がさえぎられたりして雑音が増えると、自動的にミュート機能が働きヘッドホンから音が聞こえなくなります。トランスミッターに近づくか、赤外線がさえぎられないようにすれば、自動的にミュート状態は解除されます。

お使いになったあとは

ヘッドホンはずしてから、トランスミッターの電源を切ります。

(ヘッドホンはずす前にトランスミッターの電源を切ると、雑音が入ることがあります。)

使用上のご注意

取り扱いについて

本機を落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

次のような所には置かないでください

- 直射日光があたる所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所(なるべく5 ~ 35の範囲でご使用ください。)
- 風呂場など、湿気の多い所

イヤークッションを交換する

イヤークッションは長期の使用、保存によって劣化するおそれがあります。イヤークッションを交換する場合はソニーサービス窓口にご相談ください。

故障とお考えになる前に

音が出ない。

- トランスミッターの電源を入れてから、ヘッドホンをつける。
- トランスミッターとAV機器、ACパワーアダプターとの接続、電源コンセントとの接続を確認する。
- トランスミッターにつないだAV機器の電源が入っているか確認する。
- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
- ミュート機能が働いている。
 - トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
 - なるべくトランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。
 - トランスミッターの位置や角度を変える。
- ヘッドホンの電源ランプが暗くなっているか、または点灯しない場合はヘッドホンの電池を交換する。

音がひずむ。

- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、接続したAV機器の音量を下げる。
- ヘッドホンの電源ランプが暗くなっているか、または点灯しない場合はヘッドホンの電池を交換する。

雑音が多い。

- トランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。(トランスミッターから離れるにつれて雑音が多くなります。この現象は赤外線特性によるもので、故障ではありません。)
- トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
- 赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。
- 直射日光の入る窓際で使っているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにする。または、直射日光の当たらない場所で使う。
- トランスミッターの位置や角度を変える。
- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンの電源ランプが暗くなっているか、または点灯しない場合はヘッドホンの電池を交換する。

日本国内での充電式電池の廃棄について

ニカド電池は、リサイクルできます。不要になったニカド電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

Ni-Cd

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
社団法人電池工業会ホームページ
<http://www.baj.or.jp/> を参照してください。

